

## 平成 18 年度第 3 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 18 年 9 月 11 日 ( 月 ) 13 時 30 分 ~ 17 時 10 分

2. 場 所 関西大学総合図書館会議室

3. 出席者 ( 順不同、敬称略 )

京都大学人間環境学研究科・総合人間学部図書館	辰野 直子
神戸大学附属図書館	石定 泰典
大阪府立大学学術情報センター	赤崎 久美
和歌山県立医科大学図書館	南方 政英
姫路獨協大学図書館	梶浦美千子
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司
同志社大学総合情報センター	西山 智紗
京都産業大学図書館	近江由紀子
大阪大学附属図書館	杉山 宗武
関西学院大学図書館	中村 順治
オブザーバー	
関西大学総合図書館	赤木 一夫

4. 議 事

第 2 回能力開発専門委員会議事概要について確認が行われた後、議事次第に沿って審議が行われた。

1) 平成 18 年度基礎研修 ( 初任者研修 ) 実施計画案について

近畿イニシア開催通知 ( 案 ) ( 資料 2 )、募集要項 ( 案 ) ( 資料 3 ) について

・開催通知 ( 案 ) について

標題が「基礎研修 ( 初任者研修 ) 」となっていることについて、「基礎研修」に重点を置くより、その内容である「初任者研修」に重点を置くのがよいとの意見が出され、審議の結果、「基礎研修「初任者研修」」とすることとした。

また、本文中、「館種を超えた」を「設置形態を超えた」に変更して募集要項 ( 案 ) と表現の統一を図ることとした。

・募集要項 ( 案 ) について

1 主旨と目標の文章で、「スキーム」という表現が分かりにくいのではないかととの意見があり、「方針」に変更することとした。

3 - 2 ) の会場案内について、関西大学赤木氏より、電話番号の訂正、URL をより適切なものにする、最寄の駅を加えた方がよい等のアドバイスがあった。

3 - 3 ) の募集人員について、受講対象者の 1 / 2 程度、班別討議の人数規模から 60 人に設定したとの説明があった。班別討議用には 5 部屋用意されており、各班 12 人になるので 60 人で適切であるとの意見が出され、原案どおり 60 人とすることとした。

3 - 5 ) 研修参加費は昨年同様、1,000 円とした。

3 - 6 ) 情報交換会の参加費については、料理 3,000 円程度、飲み物実費で概

ね 4,000 円でよいとの結論になった。

4 の応募先は昨年どおり石定委員とすることとした。

5 応募締切日は原案どおり 10 月 16 日とした。

応募用紙(案)(資料4) 機関別推薦書(案)(資料5)について

・応募用紙(案)について

昨年度は班別討議の班分けの参考とするため、サブテーマを選択してもらう形を取ったが、本年度の扱いをどうするかについて議論があり、本年度は選択肢を設けず、テーマである「スキルアップ」について自由に記述してもらい、班分けの参考にすることとした。

班別討議の時間を節約するため、応募用紙に自己紹介を記述してもらい、第 1 日目にグループ内に配布する案が出された。審議の結果、応募用紙に自己紹介欄を設けることとし、原案を赤崎委員が作成することになった。

・機関別推薦書(案)について

昨年度、特に選考基準に参加資格を使ったわけではなく、基本的に大学の推薦順位が尊重されるべきであるとの観点から、参加資格欄を削ることとした。

研修日程(案)(資料6) 講師名簿(資料7)について

・研修日程(案)について

研修終了後の関西大学図書館見学については、18 時くらいまでご案内いただけることになった。また、事前に人数が把握できた方がよいので、応募用紙に見学会の出欠を記入してもらうこととした。

九州大学有川先生のご予定が完全には確認できていないため、研修日程(案)で有川先生のご了解は得ているが、ご都合によっては、順番の入れ替えの可能性がないではないとの発言があった。

班別討議助言者が、当日講師は 3 人で、2 人不足することになるので、赤崎委員が助言者に加わり、あと 1 名の援助を運営委員会に依頼することとした。

エルゼビア社のコマを「ゲストスピーカーライブ」としているが、分かりにくいという声もあるので、とりあえず「ゲスト講演」という名称で運営委員会に提案することになった。

情報交換会は 70 名くらいの見込みで、立食形式で行い、講師からは参加費は徴収しないこととした。

講師派遣委嘱状(案) 同同意書(案)(資料8-1~6)について

・講師派遣委嘱状について

教員用の 2 種について、「近畿イニシアの規程に基づき」を「大学図書館近畿イニシアタイプの規定に基づき」に修正することとした。また、教員個人用について、謝金と旅費の項を削除することとした。

事務手続については、事務局に委ねることになるので、専門委員会としては、この案を運営委員会に提出することとした。

許諾書(案)(資料9)について

案を整理し、「研修会発表資料」、「研修会当日の講師写真」、「研修会の講演音

声」の3項目とし、「研修会発表資料」では、掲載する場所等を「近畿イニシアホームページ」を基本とし、事後の印刷は行わないこととした。また、当日の配布資料の形態をコピーにするか印刷製本するかは更に検討することとした。「研修会当日の講師写真」については「(掲載の場合具体的にご相談します)」という記述を削除し、「研修会の講演音声」については、録音の許諾だけを取っておいて、掲載場所等は記さず、具体的に利用する際には、改めて講師に相談することとした。講師謝礼等基準(案)(資料10)について

原案の説明があり、拘束時間により謝礼が算出されるのではないかなどの質問が出されたが、一律20,000円としたのは、今後のことを考えて低く抑えてあるとの説明があった。審議の結果、原案通り承認し、運営委員会に判断を委ねることとした。

役割分担について(資料11)

1 - 講師等連絡担当に鹿田委員を加え、1 - 会場連絡担当の赤崎委員を西山委員に交代し、2 - 受付担当の赤崎委員を梶浦委員に交代することとした。なお、講師控室として会議室を使わせてもらえるか確認していただくこととした。また、アンケートについて、内容をどうするか、まとめ方と分析をどうするか、更に検討する必要があるとの意見が出され、西山委員に提案をお願いすることとなった。

今後のスケジュールについて(資料12)

原案の説明があり、「講師等との打合せ」については、発表内容についての構想を聞くとともに、専門委員会の希望を伝える必要があり、早期に機会を持った方がよいとの意見が出され、10月18~20日頃を目途に講師の都合を優先して行うこととなった。また、参加者決定通知については、募集の締切が守られれば10月25日くらいに可能との見通しが示された。講師等原稿締切については、配布資料の作成形態にもよるが、一応の締切は少し早めて11月2日とし、どうしても間に合わなければ1枚程度のレジメだけでも提出してもらうことにした。直前の専門委員会については、11月14日に開催することに決定した。

情報交換会について

立食式であるが、昨年度の経験から、会の始めには何らかの形で班別の集まりを作る工夫をするのがよいとの意見が出された。

## 2) その他の能力開発事業について

今年度の研修事業について(資料13、14)

私大京都地区協議会との共催をその他の研修候補に考えていたが、幹事校が消極的なので、実現の可能性は薄くなっている。その場合、単独で、もう1つの研修を行うのは、負担が大きいのので、公大図協との共催をその他の研修に当てているとの説明があった。

人材活用事業について(資料15、16)

今後の能力開発事業の基礎データとするために人材、研修のデータベースを作る必要があるため、アンケートの様式案およびアンケート依頼文案を作成したと

の説明があり、運営委員会に提案することが了承された。

能力開発事業ニーズ把握アンケートについて（資料17）

来年度に向けてのアンケートの検討を今後行うことが確認された。

Webページの活用について

Webでのアンケート回答、意見収集などが可能かどうかを石定委員、辰野委員を通じて調べてもらうこととした。

### 3) その他

動画配信について、有川先生の講演だけでもできないかとの意見があり、技術的な面など検討しておくこととした。

以 上